


ノーリフティングケアが現場にもたらすもの

～ 理念・目的の理解 ～



 社会福祉法人ひさの里
 特別養護老人ホームふじの木園
 施設長 須藤秀作



ご挨拶
 人を笑顔にできれば、
 それは必ず
 返ってきます。
 理事長 / 須藤正義



「自分だけの力では、事業は成り立たない...」


 ひさの里運営理念
 「法人に関わる全ての方々が喜びを見出せる運営を行う」



- 障がい福祉サービス事業所ふじの木村
- ふじの木園ホームヘルプステーション
- 特別養護老人ホームふじの木園
- ふじの木園短期入所施設
- ふじの木園ケアプランセンター
- ふじの木園デイサービスセンター
- ふじの木園八幡東デイサービスセンター

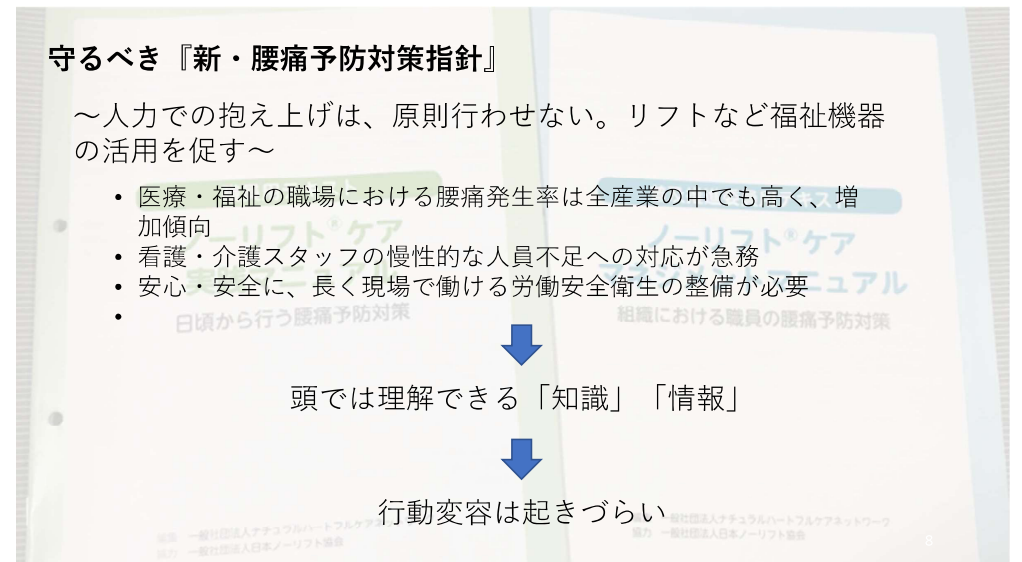
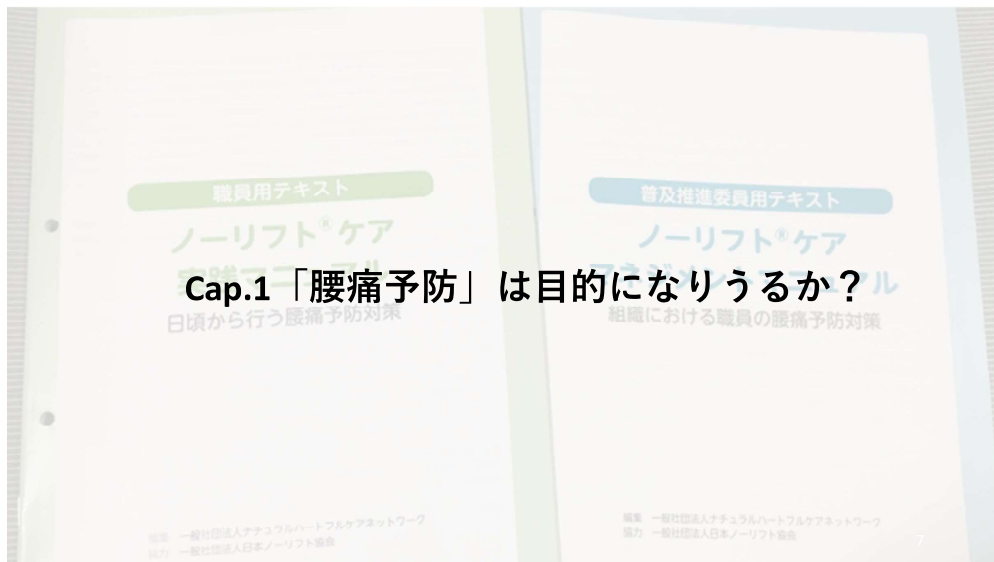
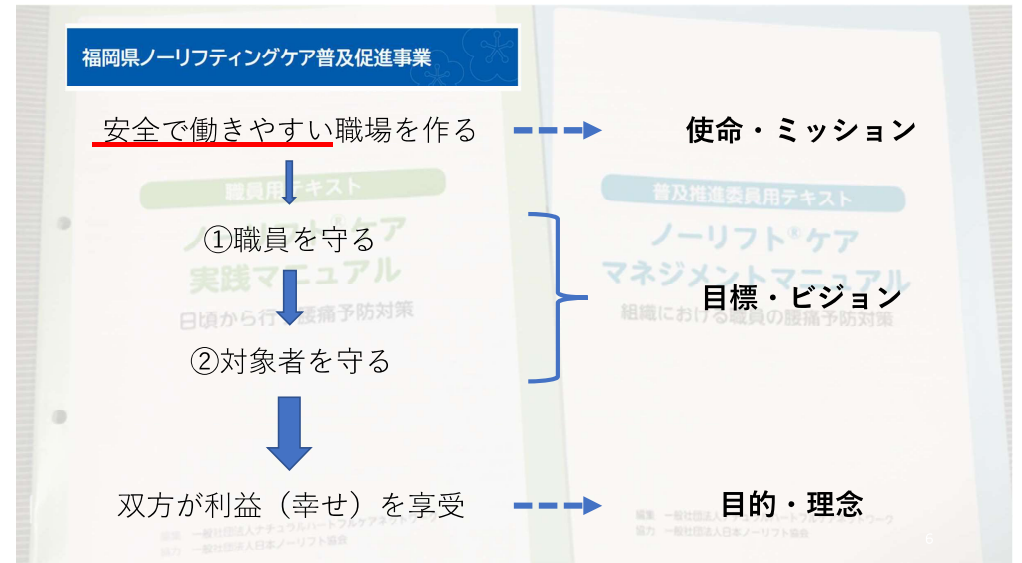
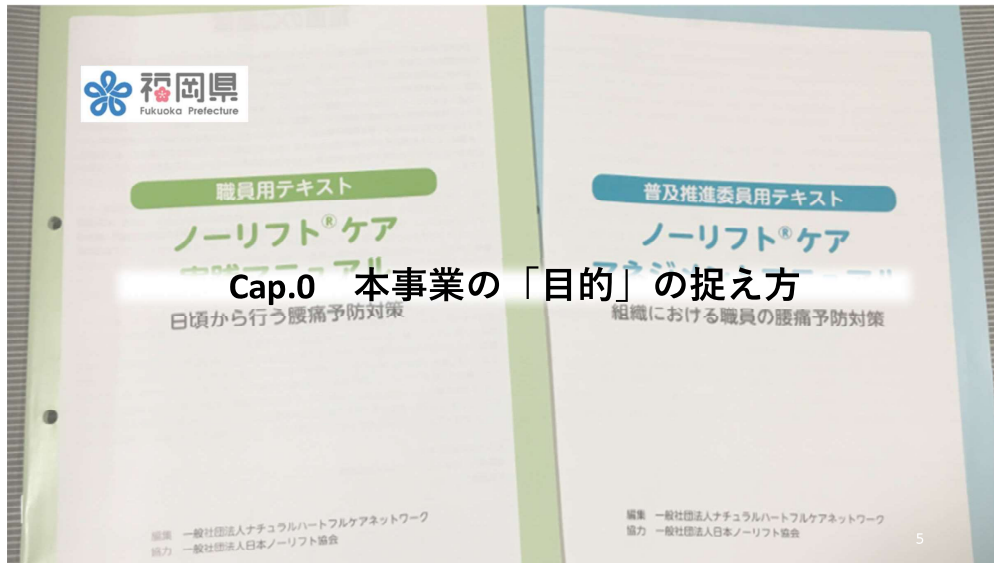


ノーリフティングポリシー
 ～危険や苦痛の伴う、人力のみの移乗を禁止し、患者さんの自立度を考慮した福祉用具使用による移乗介護～

日本ノーリフト®協会

- ケアスタッフの腰痛予防（労働安全衛生マネジメント）
- 患者（高齢者）の拘縮・褥瘡等（二次障害）の予防

ケアする側、ケアを受ける側双方にとって「優しい」ケア



ひさの里運営理念
「法人に関わる全ての方々が喜びを見出せる運営を行う」

職員用テキスト + 普及推進委員用テキスト

ノーリフト®ケア
ケアする側、ケアを受ける側双方にとって「優しい」ケア

日頃から行う腰痛予防対策
組織における職員の腰痛予防対策

Fit (整合) させる

↓

入居者も職員も、安心・安全な「暮らし」を継続することができる

編集 一般社団法人アチュラムハートフルケアネットワーク
協力 一般社団法人日本ノーリフト協会

職員用テキスト

普及推進委員用テキスト

ノーリフト®ケア
実践マニュアル

日頃から行う腰痛予防対策
組織における職員の腰痛予防対策

Cap.2 「人材」と「動機付け」

編集 一般社団法人アチュラムハートフルケアネットワーク
協力 一般社団法人日本ノーリフト協会

P2 「組織体制を整えること」「職員一人ひとりの意識の変容」の両方が必要

抜粋

現場を変えるためには、管理側の「働き方を変える」という意識が大切ですが、管理側の意識だけではケアは変わりません。職員一人一人が、腰痛を引き起こすようなケア、対象者の二次障害を引き起こすようなケアを廃止する、そのために「働き方を変える」という意識を持つことができるように伝えていくこと、そして実際に働き方を変えるための方法を教育していく組織体制を整えることが大切です。

マネジメント ... 人を以って事を成す

編集 一般社団法人アチュラムハートフルケアネットワーク
協力 一般社団法人日本ノーリフト協会

P2 「組織体制を整えること」「職員一人ひとりの意識の変容」の両方が必要

適切な人材で委員会を編成・運営する

職員用テキスト

普及推進委員用テキスト

ノーリフト®ケア
実践マニュアル

日頃から行う腰痛予防対策
組織における職員の腰痛予防対策

1. 真摯さ (まじめ・熱心)
2. 誠実さ (私利私欲ではない)
3. 徳性 (人徳)

役職・知識・経験・スキルの優先は長期的にはリスクをはらむ

編集 一般社団法人アチュラムハートフルケアネットワーク
協力 一般社団法人日本ノーリフト協会

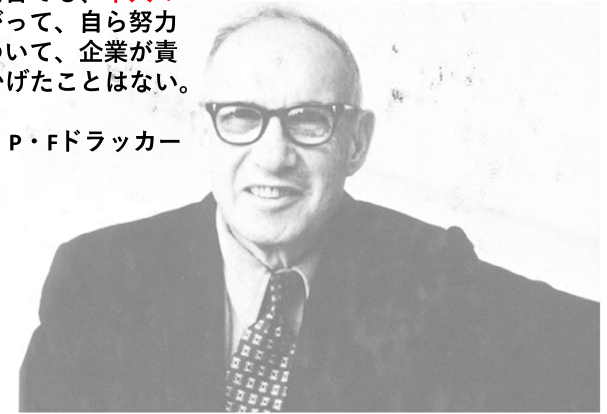
P2 「組織体制を整えること」 「職員一人ひとりの意識の変容」 の両方が必要

Q. 委員会は個人の動機付けにどこまでの責任を担うか？

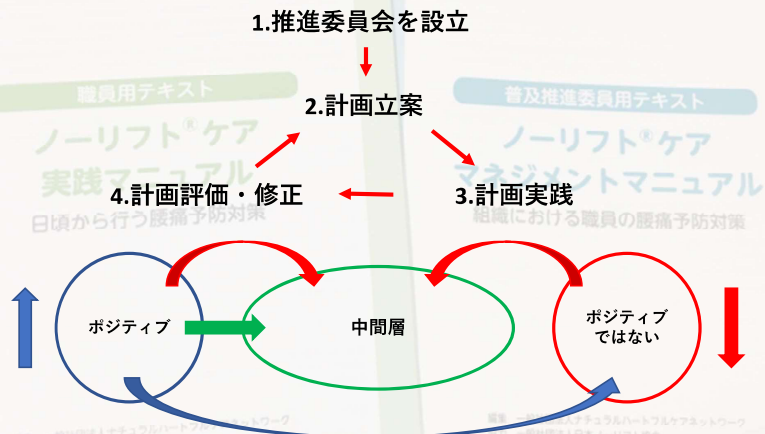
抜粋 もちろん、職員一人ひとりが「**みずから学び、実践する姿勢**」が何より大事であることは言うまでもありません。

成長とは、いついかなる場合でも、**本人の努力の結果**である。したがって、自ら努力しない人々の進歩発達について、企業が責任を感じるほど、ばかげたことはない。

P・Fドラッカー



陥りがちな「罫」



Cap.3 ことごとじっくりと...

運営上のポイント

- ① 失敗と誤りは避けられないという認識（責任の所在を明確に）
- ② 「何が正しいか」を担保するのは「誰」か（適切な人材）
- ③ 小さな一歩を踏み出す（小さな成功体験を積み重ねる）

↓

具体的な仕組み ※理念・目的から離れない

NGワード

- ① 特効薬で突破！
- ② スーパーヒーローへの過度な期待
- ③ 条件反射的な意思決定

一発逆転を求めない

Cap.Fin ノーリフティングケアがもたらすもの

ノーリフティングケアがもたらすもの（陽）

- ① 「専門性(Speciality)」が高まる
- ② 「何が正しいか」が「誰が正しいか」を超える
- ③ 「ケア軸」ができることでケアの底上げ

ノーリフティングケアがもたらすもの（陰）

- ① 心理的な抵抗へのマネジメント負担
- ② 個の能力（技術・知識・考え方）の差⇒事故誘発
- ③ 役職間（縦）、職種間（横）の軋轢

成長する絶好の機会と「捉える！」